

平成25年度 村上市音楽部 活動報告

部長 鴻島 亜希子

1 研究主題 「音楽を深く味わい楽しむための具体的方策を探る」

2 研究の概要

「音楽を深く味わい楽しむ」とは、児童がさまざまな音楽に積極的に関わり、表現することを楽しみながら、自分の思いや願いをもって音楽活動に取り組むことと考える。そのためにどのような音楽活動を取り入れて、どのように音楽に関わらせていくかという具体的な方策を音楽部員で共有するために下記の活動を行った。

4月 代表部員会 研究主題設定・事業計画立案

8月 代表部員会 指導案検討会 10月 音楽部会 指導案検討会

11月 音楽部会 研究授業

授業者 小川小学校 教諭 園邊 香織

題材名 第3学年「せんりつのとくちょうをかんじとろう」

指導者 新潟市立巻南小学校 校長 宮川 由美子 様

3 研究の実際

○研究授業について

授業者は、ねらいを「曲の山を感じられるように強弱をつけて歌うことができる」とし、教材曲「一人の手」を通して、次の5つの手立てを講じて授業を行った。

【曲の山を意識して歌わせるための手立て】

①横一列に並べて拡大した楽譜を掲示し、音符を線で結び、音の高さや動きなどの音楽的要素を視覚的に捉えさせる。

②ワークシートにも横一列に並べた楽譜を印刷する。

【話し合いながら、自分たちで表現させるための手立て】

③教材曲に対して同じ思いをもつ子ども同士でグループを作り、練習させる。

④自分たちの歌声を客観的に聴かせるために、ビデオ撮影をする。

⑤練習場所とビデオの撮影場所を分け、それぞれの場所でやることに集中させる。

それぞれのグループが熱心に練習に取り組み、曲の山を感じられる歌い方になっているか確かめながら、活動していた。撮影場所では、撮影後すぐに自分たちの歌声を聴くことができ、「さっきよりよくなった。」「強弱がはっきりしてきた。」など、練習の成果を実感している様子が見られた。

協議会では、今回の授業でのビデオ撮影は、即効性があり、子どもたちに強弱を意識して練習させるために大変有効であるという話があった。また、宮川先生からは音楽を形づくっている要素を意識して指導したり、学習に取り組ませたりすることの大切さ、また音楽における言語活動とは「試しながら話し合うこと」である、などこれからの音楽の授業にすぐ生かせるご指導を賜うことができた。



4 成果と課題

○指導案検討会や研究授業を通して、研究主題に迫ることができた。

○巻南小学校の宮川由美子校長先生に研究授業の指導者をお願いし、より充実した活動や研修をすることができた。

○来年度以降、研究授業だけでなく、日々の音楽の授業に生かすことができる技を学ぶ機会を設けられるとよい。